

2021年9月24日

住友生命保険相互会社

東京センチュリー株式会社向けのシンジケートローン 「サステナビリティ・リンク・ローン」への参加について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、東京センチュリー株式会社向けのシンジケートローン「サステナビリティ・リンク・ローン」に参加しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のCSR戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件を目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。



なお、本件は、株式会社日本格付研究所（JCR）から、ローン・マーケット・アソシエーション^{※1}等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則、並びに環境省によるグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）への準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見^{※2}を取得しています。

【本件概要】

借入人	東京センチュリー株式会社
アレンジャー	株式会社みずほ銀行
エージェント	株式会社みずほ銀行
実行日	2021年9月24日（金）
組成金額	225億円（住友生命 20億円）
資金使途	運転資金
サステナビリティ目標	①京セラ TCL ソーラー合同会社の太陽光発電事業による年間発電量およびCO2削減量目標の達成 ②二国間クレジット制度（JCM）の想定GHG削減貢献量（累計）目標の達成 ③DX認定（経済産業省）を維持

※1 国際ローン市場協会。サステナビリティ・リンク・ローン等に関する国際的な基準を策定しています。

※2 JCR による評価レポートをご参照ください。 <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、責任投資（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）をその主要な取組みの一つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、責任投資に取り組んでおり、本件への参加はその一環として行うものです。

今後も、責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

以上